

『「ひょうご匠の技」探求事業の実践について』

兵庫県立兵庫工業高等学校
校長 清水 五 男

1 はじめに

現在、若者を中心としたものづくり離れ、さらに熟練技能者の高齢化により、地域産業界の優れた工業技術・技能の継承が大きな課題となっている。そのような中、本県では平成18年度から県教育委員会の事業として、「匠の技」探求事業（平成19年度には「ひょうご匠の技」探求事業と名称変更）が策定された。これは県立高等学校のうち全日制の工業科を設置する高等学校に高度熟練技能者等を特別非常勤講師として招聘することにより、ものづくりの技術・技能に興味・関心の高い生徒を育成し、その能力を伸ばし、将来地域産業界に貢献できる実践的な工業技術者の育成を目指すことを目的としている。本事業が策定された経過や内容及び成果等を以下に示す。

2 策定への経過

県立尼崎工業高等学校では、平成15年度から技能検定機械加工旋盤作業の取り組みを始めた。取り組みにあたって職業能力開発協会の協力で高度熟練技能者の派遣を得て、教員研修を行うとともに、協同組合尼崎工業会に学校で1年間通して指導していただける高度熟練技能者の紹介を依頼し、平成16年4月より勤務していただいた。自ら学校現場に合った技能検定3級用の加工手順書を作成し、技能検定の指導をされた。その結果、平成16年度は9名の生徒が技能検定3級を受験し、全員合格を果たした。この9名の内2名は、平成19年度の技能五輪国内大会に出場している。平成17年度には3級12名、2級3名が受験し全員が合格した。工業高校生の2級合格は、近畿で初めてであり新聞にも掲載された。

この年の10月に校長は教育長に会う機会があり、高度熟練技能者の招聘に大きな成果が得られたことを報告した。そして平成18年度に「匠の技」探求事業が生まれたのである。

3 事業概要

(1) 対象校

県立高等学校のうち全日制の工業科を設置する12校

(2) 配置する人員

対象校に高度熟練技能者等を特別非常勤講師として配置する。講師が実施する時間は平成18年度「匠の技」探求事業では、週2日、各日5時間で年間35週、平成19年度「ひょうご匠の技」探求事業では、週8時間、年間35週となっている。

(3) 事業内容

高度熟練技能者等、各種分野において優れた技能を有する社会人を特別非常勤講師として採用し、「実習」や「課題研究」等で実技指導を仰ぐことにより、生徒の技術力向上を図り、ものづくり人材の裾野を広げる。あわせて高度熟練技能者等による実践的な指導をとおし、生徒の技能検定取得や高度な資格取得、各種技能コンテスト等への積極的な参加を推進する。また、工業科教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のために技能伝承研修会を高度熟練技能者等を招聘し実施する。

4 各学校の実践

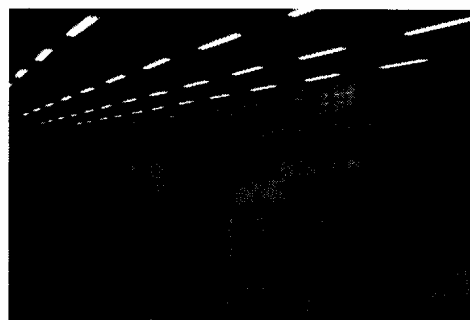
(1) 授業の内容（平成19年度実施分）

	学 校 名	任用者の職歴等	授業の内容
1	県立相生産業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
2	県立尼崎工業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
3	県立小野工業高等学校	鉄工所経営	旋盤実習
4	県立篠山産業高等学校	製造業企業OB、電気工事店経営	旋盤実習、電気工事
5	県立飾磨工業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
6	県立洲本実業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
7	県立龍野実業高等学校	会社経営者、織染教室経営	測量の実習、デザイン実習
8	県立東播工業高等学校	大工（棟梁）	建築実習
9	県立豊岡総合高等学校	自営業（機械加工）	旋盤実習
10	県立西脇工業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
11	県立姫路工業高等学校	製造業企業OB	旋盤実習
12	県立兵庫工業高等学校	製造業企業嘱託	旋盤実習

各学校で生徒は主に「実習」や「課題研究」、また放課後等の時間に高度熟練技能者から指導を受けた。以下の写真はその様子を示している。



(旋盤実習)



(2) 教員研修 (平成 19 年度実施分)

回数	講習内容	指導者	参加教員数	備考
1	化学分析法	民間化学薬品製造会社員	10名	工業化学
2	技能検定2級電子機器組立て	民間電子機器製造部社員	8名	電気・電子
3	日本伝統いぶし瓦の製作	瓦道具職人	16名	デザイン
4	技能検定機械加工(普通旋盤作業)	本事業の特別非常勤講師	11名	機械
5	技能検定機械加工(フライス盤作業)	本事業の特別非常勤講師	10名	機械

以下の写真は教員研修の様子を示している。



化学分析法



普通旋盤作業

5 成果

今年度で3年目を迎えた事業であるが、特に機械系の学科において技能検定機械加工旋盤3級への合格者が大きく増加している。その推移を下表に示す。

検定名 年度	機械加工(旋盤)		機械加工(フライス盤)		建築大工	
	3級	2級	3級	2級	3級	2級
平成17年度	18名	3名	0名	0名	5名	0名
18年度	44名	4名	0名	0名	5名	1名
19年度	68名	2名	3名	0名	4名	1名

この他にも、技能検定電子機器組立においても、3級、2級に多くの合格を得た。また、高校生ものづくりコンテストでは、上位入賞を果たしてきた。

6 おわりに

本事業の導入により、工業高等学校の教員、生徒の技術・技能の向上に著しいものがあった。生徒は放課後等にも技能検定に向け指導を受けることで、本事業の目的であるものづくりの技術・技能に興味・関心を高めるとともに、その能力を伸ばすことができた。

現在、兵庫県は今年度から新行財政改革が行われ、教育予算の減ずる中で「ひょうご匠の技」探求事業は昨年度とほぼ同じ内容で実施できることとなった。また、本事業の成果から兵庫県教育委員会は平成19年度から農業科、商業科及び家庭科等の専門高校対象の「ひょうごの達人」招聘事業が策定された。今後も「ひょうご匠の技」探求事業の趣旨を生かし、充実した内容となるように取り組んでいきたい。